

- ▶ 和歌山城二の丸にあった書院造の御殿が、明治18年(1885)大阪城本丸に移築されました。当時、陸軍は大阪鎮台と呼ばれており、和歌山も同じ管轄下にあったため、移築が容易に可能だったといわれています。この御殿は「紀州御殿」と称され、大阪鎮台(のちに第四師団司令部に改称)の本庁舎として使用されました。明治天皇が明治20年(1887)、同31年(1898)に大阪行幸の際、この紀州御殿が行在所となりました。昭和6年(1931)、大阪城天守閣が復興され、紀州御殿の管轄が軍から大阪市に移りました。以後、迎賓館として利用されています。昭和8年(1933)、昭和天皇の行在所となり「天臨閣」と改称されました。昭和20年(1945)、大空襲時には天守閣同様、奇跡的に焼失せずに済みます。日本の敗戦により大阪城はアメリカ軍の占領下となり、昭和22年(1947)9月12日夜、失火により全焼してしまいました。



紀州御殿の古写



紀州御殿跡となる庭園



15 徳川慶喜面前でのイギリス軍隊調練の実施地跡

大阪城本丸広場

- ▶ イギリス公使との謁見の際、徳川慶喜が公使館の騎馬護衛兵を見たいと希望したので、騎馬護衛兵は内廷(大広間前広場)に案内され、アブリン大尉の指揮の下に、見事な乗馬を披露しました。その場所は、現在大阪城 天守閣前本丸広場にある池より南側乾舞台の北側に該当します。

「ザ・イラストレイテッド・ロンドン・ニュース」に紹介された絵



タイクン(将軍)の面前での閱兵



イギリス軍隊の調練実施地跡

16 市正 (いちのかみ) 曲輪跡 17 片桐且元邸跡

梅林

- ▶ 豊臣家の重臣 片桐市正(いちのかみ)且元の屋敷があったことから「市正曲輪」と呼ばれ、江戸期でもそう呼ばれていました。この地は現在、「梅林」となっています。昭和48年(1973)、大阪府立北野高等学校創立100周年記念として、梅を大阪府に寄付したことから年々整備されています。梅の花が咲く時期にはたくさんの見物客が訪れます。



片桐且元

近江 浅井氏の配下の家に生まれました。柴田勝家との賤ヶ岳の戦い(近江国伊香郡)で福島正則や加藤清正らと共に活躍し、「賤ヶ岳七本槍」の一人に数えられました。文禄4年(1595)、摂津茨木城主に任命され、慶長3年(1598)、大坂城番となり城詰めとなります。片桐且元が与えられた所領は播磨一万石に過ぎなかったのですが、豊臣秀頼の傅役を任せられ、羽柴姓も与えられ破格な扱いを受けました。慶長19年(1614)、方広寺鐘銘問題が起こって徳川家と豊臣家に対立しますが、豊臣家の代表として交渉に行った片桐且元を淀君や大野治長らに疑念を抱かれることになり、大坂城を去ります。

18 大坂城代上屋敷跡

西の丸庭園(有料)

- ▶ 江戸幕府は、西国大名の監視をする役割として大坂城に城代を置きます。初代大坂城代は高槻城主 内藤信正で、元和5年(1619)に着任しています。内藤信正は、再建工事中に病没し、寛永3年(1626)、第2代城代に武蔵岩槻城主 阿部正次が着任し、21年間務めることとなります。幕末までで、合計70名の大名が大坂城代を務めています。その城代の上屋敷がこの辺りにありました。唯一、遺構として井戸が残っています。

19 大坂城代上屋敷の井戸跡

西の丸庭園(有料)

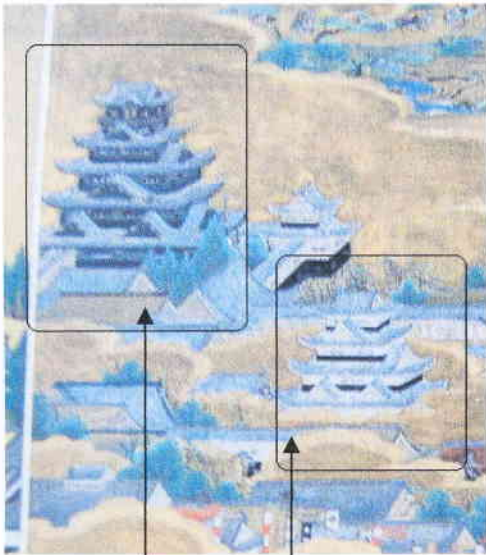
- ▶ 大坂城代上屋敷跡に現在も井戸跡が残っています。



徳川家康築城の天守跡

西の丸庭園(有料)

- ▶ 豊臣秀吉の死後、勢力を拡大してきた徳川家康は、慶長4年(1599)9月9日、豊臣秀頼に対し重陽の節句のお祝いのため、伏見から大坂城に入城します。この頃、北の政所(秀吉の正妻)は西の丸に住んでいましたが、家康の来坂直後、西の丸を家康に明け渡し、京都の高台寺に移り住んでしまいました。家康は節句のお祝いが済んでも伏見に帰らず西の丸に居座ります。慶長5年(1600)2月～3月にかけて、家康は西の丸に天守閣の築城工事を開始します。姫路城も天守閣が2つ以上ありますが、大天守を中心に小天守があるといった造りです。しかし、この時の大坂城は、本丸と西の丸からは離れた場所に大天守が2つ存在しました。家康が2つ目の天守に居座ることで、豊臣の勢力と互角であることを天下に知らしめることを狙ったのではないかと考えられます。重要文化財に指定されている「大坂夏の陣図屏風」(大阪城天守閣蔵)に2つの天守が建っていた様子が描かれています。



豊臣秀吉築城の天守閣

徳川家康築城の天守閣



徳川家康築城の天守閣があった現在の西の丸庭園

大阪観光ボランティアガイド協会 <http://www.octb.jp/ovgc-index/index.html>

- 【大手口コース】 大手門—枳形と巨石—多聞櫓—千貫櫓—太鼓櫓—六番櫓—豊国神社—空堀—桜門—銀名水—蛸石等の巨石群—金蔵—旧博物館と天守閣etc
- 【青屋口コース】 算盤橋—青屋門—人面石—極楽橋—妖怪屋敷—山里丸—秀頼・淀殿ら自刃地碑—刻印石広場—隠し曲輪—日本庭園—(豊臣期石垣跡)—旧博物館と天守閣etc
- 【玉造口コース】 城中焼亡骨墳—南外堀—一番櫓—玉造口定番屋敷跡—蓮如袈裟掛松—蓮如六字名号碑—東内堀—謎の石組—空堀と普請—桜門—旧博物館と天守閣etc
- 【大阪城ゆかりコース】 真田の抜け穴、玉造稻荷神社、越中井、大聖堂etc

上記以外にも史跡コースがあり、料金は無料ですのでご利用いただければと思います。

今回も前号に引き続いて、紹介できていない箇所を取り上げました。大阪城も調べれば調べるほど面白く、奥深い史跡です。次回以降もご期待ください。